



むかわ町における災害情報の伝達について



「穂別博物館」



清流「一級河川鷓川」



「カムイサウルス・ジャポニクス」（むかわ竜）



鷓川市街地「ししゃもすだれ干し」

令和4年12月15日 むかわ町 総務企画課長 石川英毅

むかわ町はここです！



簡単なむかわ町のご紹介

むかわ町は道央圏の南方に位置し、札幌市や空の玄関である新千歳空港、海の玄関である苫小牧市にも近く、日高・十勝方面への交通の要衝にある人口約7,500人のまちです。

胆振管内で最も大きい面積(711.36k m²)を有し、全国でも屈指の清流度を誇る一級河川「鷓川」が南北に縦走しています。この豊かな自然環境が作りだす地域ブランド「鷓川ししゃも」「ほべつメロン」をはじめとする品質の高い食材がたくさんあり、自然や食を活かしたイベントも四季折々で開催されます。

一方、まちづくりにおいては、まちの将来像を「人とつながる、笑顔でつながる、未来につながるまち むかわ」とし、各種施策に取り組むとともに、世界的な注目を集めている貴重な恐竜化石を活用したまちづくりにも力をいれています。

URL : <http://www.town.mukawa.lg.jp/>

○人口:7,576人

○世帯数:4,088世帯

(※令和4年10月31日現在)

広域マップ



札幌からむかわ町へ車で約90分

「むかわ町の紹介②」



北海道初のノーベル化学賞受賞者
「鈴木章」北海道大学名誉教授の
出身地



四季折々の彩を見せる
一級河川「鵜川」



むかわ竜(国内最大の全身骨格化石)
(カムイサウルス・ジャポニクス)
※むかわ竜と発掘した北大小林教授



バラエティ豊富な「むかわ農業」



道内有数の木材供給基地
「むかわ林業」



日本昔話にも出た
「鵜川ししゃも」



「北海道胆振東部地震」

平成30年9月6日3時7分に発生

全国各地で災害が勃発する昨今、
北海道で初めて震度7を観測した
平成30年北海道胆振(いぶり)東部地震



むかわ町の情報提供システムの状況と変遷



【発災当時】

鶴川地区

穂別地区

震災当時の情報提供システムの状況	<ul style="list-style-type: none"> ①防災無線（同報系） ②防災無線戸別受信機（市街地外・市街地一部） 	<ul style="list-style-type: none"> ①情報告知端末（1,200台） ②テレビ11ch（テレビ共聴施設）
情報提供の方法	<ul style="list-style-type: none"> ①屋外スピーカーからの音声のみ ②戸別受信機からの音声のみ 	<ul style="list-style-type: none"> ①音声及び画像データ、文字データ



【R3年度以降】

むかわ町の情報提供システムの現状	<ul style="list-style-type: none"> ①防災無線（同報系） ②防災無線戸別受信機（市街地外・市街地一部） ③スマートフォンアプリ（JC-Smart） 	<ul style="list-style-type: none"> ①IP告知端末（600台）※情報端末更新 ②テレビ11ch ③スマートフォンアプリ（JC-Smart）
情報提供の方法	<ul style="list-style-type: none"> ①屋外スピーカーからの音声のみ ②戸別受信機からの音声のみ ③画像データ、文字データ ※音声なし 	<ul style="list-style-type: none"> ①音声及び画像データ、文字データ ②画像及び文字データ ※通常音声なし（音声配信可） ③画像データ、文字データ ※音声なし
両地区の相違	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音声のみの情報提供で、画像データの配信不可 ・ テレビ配信無し ・ 光回線接続不要 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 屋外スピーカー無し、音声は、IP告知端末のみ ・ 光回線の接続必要（テレビ、IP告知端末）
両地区共通	<ul style="list-style-type: none"> ・ JC-Smartによる画像データ等の配信 ・ SNS連携（LINE、Facebookへの配信） 	同 左
地区課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外部スピーカーからの音声配信のため、聞こえづらい、情報に制限（拡声器での情報伝達に課題） ・ 将来的に戸別受信機の更新が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 将来的にIP告知端末を配置する場合、更新費用が発生（次期更新時は、スマートフォンへ移行予定） →その際の音声告知方法は課題

現行の整備概要《参考》

画面イメージ

IP告知端末

※穂別地区のみ配置



スマートフォンアプリ

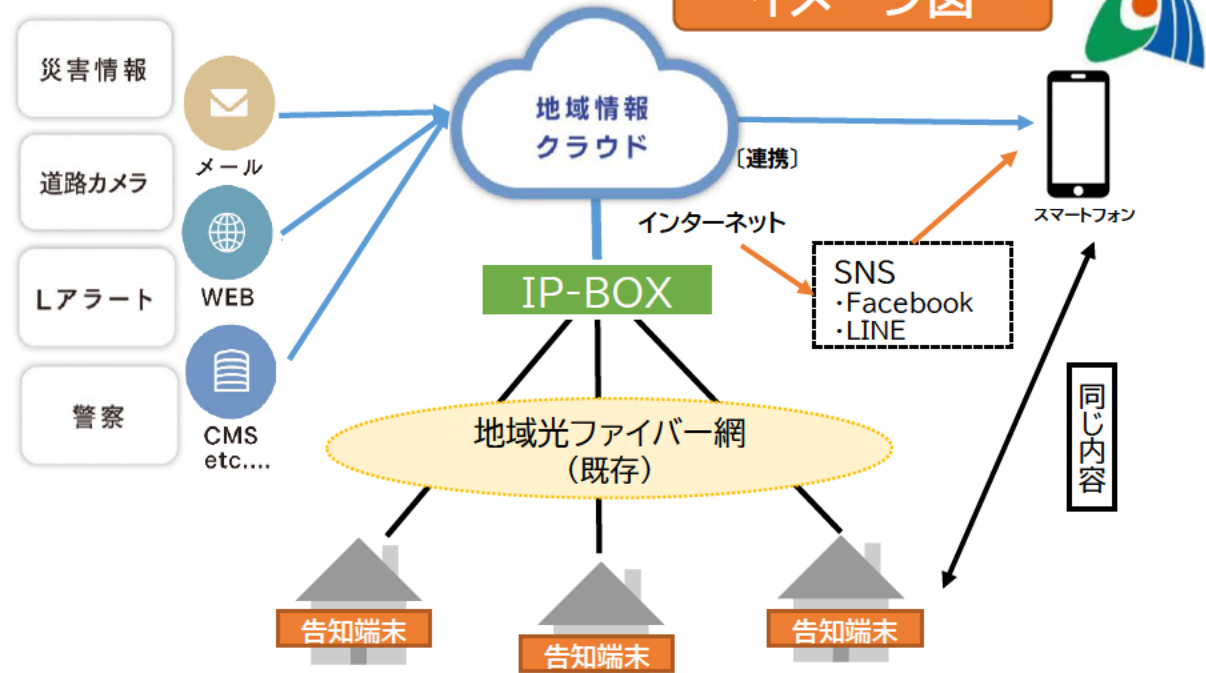
※むかわ町全域で
利用可能



IP告知端末等の主な特徴

- ◆従来の情報配信以外に天気・防災・Lアラート・防犯情報・道路情報・役場ホームページなど様々な情報配信が可能。
→システムで自動連携するため、職員の入力は不要
- ◆災害時など、IP告知端末に入力した情報をSNS(Facebook、LINE)に配信が可能。
- ◆スマホの場合は、どこにいてもむかわ町の情報取得が可能。
- ◆IP告知端末の他、スマホアプリに情報配信が可能。

イメージ図



項目	内容等	メリット
クラウド化	<ul style="list-style-type: none"> ◆クラウドへの移行に伴う庁舎内スペースの簡素化 ◆サーバ機器の更新費用の圧縮 	<ul style="list-style-type: none"> ・スペースの簡素化 ・リモートメンテナンス ・トータルコストの削減
スマートフォン連携	<ul style="list-style-type: none"> ◆告知端末以外にスマートフォンへの配信と災害時の情報強靱化 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報配信の多重化 ・情報の強靱化
システム連携	<ul style="list-style-type: none"> ◆定点カメラ、各種SNS、HPなど既存システムとの連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の一元化による運用負荷の軽減
情報通信基盤利用促進協議会との連携	<ul style="list-style-type: none"> ◆導入済みの自治体との連携、共同調達によるコストの抑制 	<ul style="list-style-type: none"> ・割り勘効果 ・導入コストの抑制



復旧から復興へ

「未来へつなぐまちづくり」

「まもる力」×「つくる力」×「つなぐ力」

～そこに新たなまちづくりの可能性が～

これまで:復旧
復旧の過程で得たものを
次の時代へ

第2次むかわ町
まちづくり計画

むかわ町復興計画

むかわ町強靱化計画

むかわ町まちなか
再生基本計画



現在:復旧から復興へ
単なる復興ではなく、様々な
取り組みと連携し、時代の変
化に対応。

インフラ整備

コミュニティづくり

人流増の取組

人の繋がり的重要性



これから:復興から創生へ
～共に創るまちづくりを～
ご支援を頂いた全国の方々へ、震災前よ
りも強くなったむかわ町を創り、発信して
いく。

復興のシンボルとなる
新たな拠点の整備と
つながりを目指す。



道の駅「四季の館」



穂別博物館

防災先導のまちづくりへ 「まもる力」(持続可能な社会)

○日本海溝・千島海溝沖巨大津波対策、気候変動対策

○事前復興計画の策定(道内初！)

○防災連携協定等の締結(現在50件)



日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に関する対応へ



【3.11東日本大震災／むかわ町】



北海道より公表された津波浸水想定区域

北海道胆振東部地震など、
災禍を受けた経験を
活かすべき！

**災害発生時の被害軽減
と迅速な復興の実現**

事前防災や事前復興に取り組むことにより、
防災意識の向上と災害発生時の迅速な対応や
的確な判断を促進し、被害の軽減を図る。

北海道胆振東部地震の状況



被災直後の避難状況(被災直後)



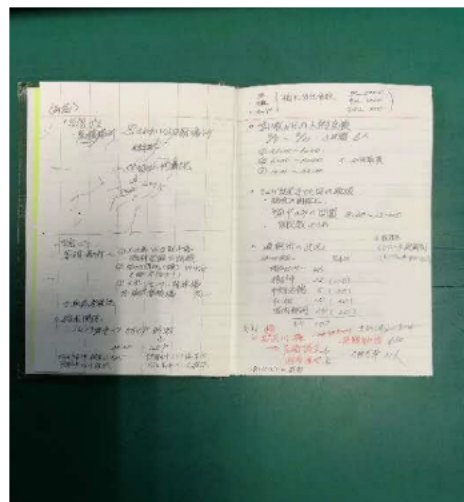
被災直後の災害ゴミの状況



避難所の周知掲示物の状況



消防団・自治会・町職員炊き出し状況



被災直後のメモ



地区本部会議の状況



本庁災害対策本部の状況



被災直後の本庁舎内の状況

災禍を受け、次に災害が、もし起きたら…。事前の準備が必要！あのときを振り返ってみよう！

事前復興計画とは？

発災後、迅速かつ着実に復興まちづくりを進めることができるよう、あらかじめ、復興の課題を想定し、復興まちづくりの方向性、進め方などを定める計画。

次につなげる取り組み

- 行政も町民も一緒に考えることが必要。
- 一緒に乗り越えてきたから…。

事前復興計画を策定し、備える必要があると判断！

そのためには、災害情報伝達が重要！



震災後実施した机上防災訓練の様子



未来へつなぐまちづくりへ

「つなぐ力」(地方創生)の取り組み

ODXの推進

- ★テレビdボタンを活用した情報提供システムの導入(全国初！)
- ・スマート農業技術の活用

○創造的復興・創生の象徴となるまちづくり

- ・むかわ町復興拠点施設等整備事業(公募による事業推進チームの設置)
- ・まちなか再生の推進～社会的課題、地域課題解決型の復興拠点施設等整備





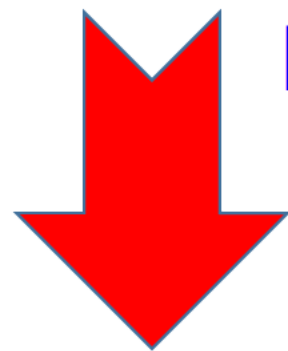
地域情報化から町民誰一人、取り残さない

さらに、コンピューターやインターネットの知識がなくても、

誰もが恩恵にあずかれる物と方法(仕組み)

注意)

ただし、複数業者・複数システムを導入してしまうと
入力システムが煩雑になり、緊急時に操作が出来ず
使い物にならない可能性を防ぐ必要がある！



「自治体DX Society5.0」

それは、



- ☆地上デジタル放送
- ☆データ放送
(dボタンの活用)

北海道の民放地上波放送局「HTB」、アプリ提供元「JCC」から、
IP告知端末・スマホアプリと同じシステムから、テレビにも情報が
流れる仕組みの提案があり、むかわ町で導入を決定！

最後にお伝えしたいこと！



- この仕組みをむかわ町が導入すると
 - ・IP告知端末設置(穂別地区)約600世帯
 - ・スマホアプリインストール数約1500名
 - ・そして、テレビを持っている方々に情報発信をすることが可能となる。
 - 今まで、鷓川地区の同報系無線による音声による情報発信の内容も画面を見て確認できる。
※むかわ町全域の町民に情報伝達ができることとなる。
- ◎しかし、このシステムを導入したからといって全てが解決できるというものではない！
あくまでも、一つの手段。
- ◎ハードとソフト事業の連携した取り組みが必要
→つまり、人と人とのつながりも大切。
- ◎地域のつながりが希薄となっていると言われていたが、いざとなった時は
力になってくれる町民がたくさんいる。
- ※なお、これらの仕組みを利用した効率的・効果的な情報伝達手法を今後も研究してまいります。

最後までご静聴頂き、
有り難う御座いました！



むかわ町公認キャラクター
「むかろん」